

- 行動化をうながす保健指導
- 学校医と保健教育
- 学校環境衛生会に参加して
- 保健指導の実際
- 保健指導資料の活用

The School Health (No.131)

学校保健

昭和55年3月1日発行
(隔月発行)

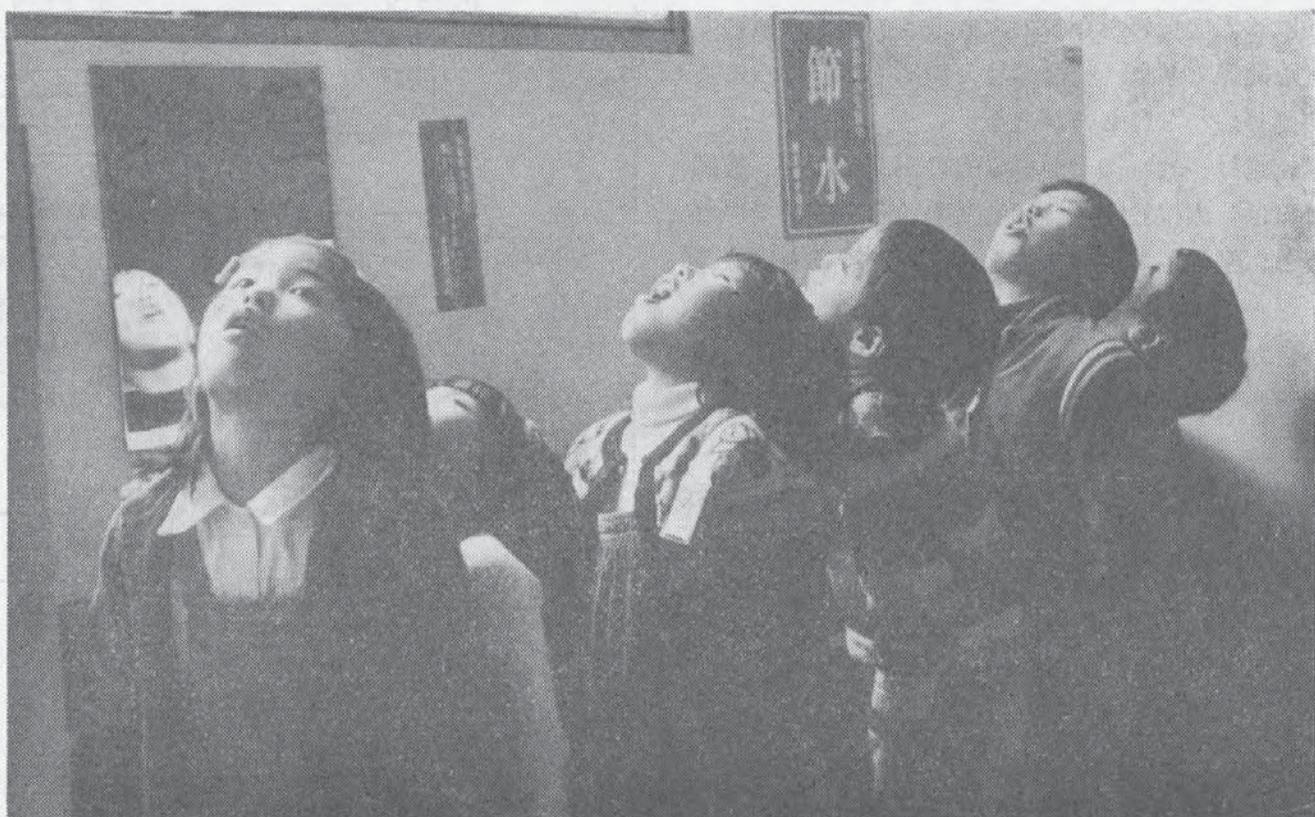
発行 日本学校保健会
東俊郎
〒105 港区虎ノ門2-3-
13 第18森ビル
電話 (501)3785・0968
振替口座 東京4-98761
価格1部100円(送料共)

行動化をうながす保健指導

保健指導を含めて、生活指導とは、問題を持つ人に対して、その問題をその人が自分で解決するように指導をすることである。問題は、個人個人のものであるから、生活指導の指導対象は個人であって、個別指導が立て前である。ただ、時に集団指導の形

式で行われることがあるが、それは、たまたま、同一共通問題をもつものが多数ある場合、手間を省くために個別指導を一時に行うのであって、指導対象は、個人個人であることを忘れてはならない。

(財)日本学校保健会 専務理事 小栗一好



ガラガラ ブクブク 東京・桜小 石川行男

学校医と保健教育

センター的事業の出版図書の活用

学校保健を医療担当者側よりみると、地域医療の中核ともなる極めて重大な意味をもつ。とくに、次代を担うべき児童生徒の保健は、即将来の日本の盛衰に直結する問題である。折しも1979年が国際児童年とされたことは、1980年に突入する機会に21世紀に連る最も重大なる事項の第1にあげられる。この国際児童年を機会に、児童生徒が今日おかれている環境の問題をはじめ、各方面から真剣に考えられ、今後も引き続き検討指導を要するのである。今日の児童生徒の世代は、21世紀の最も活力ある基礎となるものである。かかる重大なる使命を負う世代の指導に当る学校保健は、正に現代のわれわれにとっても、また、重大なる責任である。

さて、現実問題として、この保健指導をいかにすべきか、日本学校保健会は全国各府県、または指定都市学校保健会の理解ある協力のもとに、各委員会で検討研究した事項を出版、その他の方法によって衆知徹底に努力している。例年の全国大会においてその前進を見ることができる。しかし、各学校現場における保健指導が今日のままでよいか？ 極めて複雑な問題であり、社会環境との関連は、さらに簡単に割り切れないものがある。

学校には、教育権とかいうものがある由で、教師以外には、直接教育する権利とかいうものがないとすると、学校医が学校保健教育をしたくても直接これにタッチすることが問題だということを聞いたが、もし、かようなことが内部にあるとすると、校長、保健主事、養護教諭は学校医等と余程密接にスクラムを組んで保健教育の内容を理解した上で、現場に適応してもらいたいものである。現在は、進学に重点をおきすぎて、とかく予備校教育との批評を受けている。体の健康のための体育と心の健康のための情操教育を低学年から重視すべきで、知育はこれらの進行に従って漸次進めるべきではあるまいか。

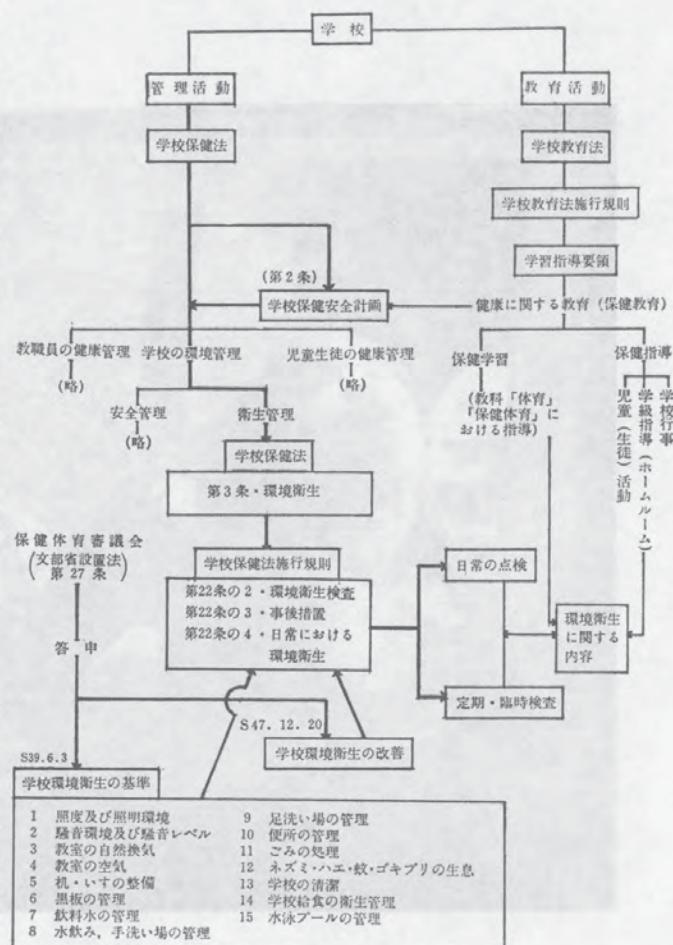
悪知恵だけしか働かぬ反社会的な人間を作らぬよう心掛けることが、人間教育の真髓であろう。最近は、特にこのような人間教育が最も必要であり、その精神にそって根本的教育改革が渴望されている。

その基礎作りに日本学校保健会が貢献し、從来より努力中なのである。特に文部省より委託された学校保健センター的事業の充実をはかり、普及指導事業、調査研究事業のため多数の委員会を組織し、各々専門家を委嘱して検討し、現場に役立つ指導書を作成している。これを各ブロックの研究会等に利用され、保健指導に成果をあげている。なお、各地区で要望があれば、適当な講師を紹介し、よろこばれている。かくして中央と地方とが相呼応して成果をあげつつある。これは、また、相互理解をするよいチャンスと思う次第である。

日本学校保健会 副会長 渡辺一九

別表-1

学校環境衛生活動の進め方の基本



- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 照度及び照明環境 | 9 足洗い場の管理 |
| 2 騒音環境及び騒音レベル | 10 個所の管理 |
| 3 教室の自然換気 | 11 ごみの処理 |
| 4 教室の空気 | 12 ネズミ・ハエ・蚊・ゴキブリの生息 |
| 5 机・いすの整備 | 13 学校の清潔 |
| 6 黒板の管理 | 14 学校給食の衛生管理 |
| 7 飲料水の管理 | 15 水泳プールの管理 |
| 8 水飲み、手洗い場の管理 | |

昭和54年度 学校環境衛生講習会に参加して

文部省、徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、日本学校薬剤師会及び徳島県学校薬剤師会の共催による昭和54年度「学校環境衛生講習会」が11月28日(水)29日(木)の2日間、徳島市の徳島県郷土文化会館において行なわれたが、全国から約900名の学校保健関係者の参加を得て盛大のうちに終了した。

この講習会は、昭和40年度から学校の環境衛生活動を効果的に推進するために開催されているものであるが、昭和53年3月31日付で学校保健法の一部、同年4月1日付で同法施行規則の一部が改正され、そのなかで学校における環境衛生検査、それに基づく事後措置及び日常の環境衛生(日常の点検と処置)についての規定がなされたことにかんがみ、これら法令の改正の趣旨・内容を十分理解した上で「効果的にこれらの環境衛生活動を進めるために、どのように取り組み展開していくか」という観点で開催された。

開講式に續いて、文部省体育局学校保健課長 島田治先生の「学校保健・安全の行政について」と題して講義がなされた。

続いて、文部省体育局学校保健課 教科調査官 国崎弘先生の「学校環境衛生に関する制度と運用」と題して、

- ① 学校において効果のある教育活動を進めるためには、環境を衛生的に維持、改善を図ることは必須の条件であること。
- ② 学校で進められる環境衛生活動は、保健管理として教職員によって進められるものであること。
- ③ 学校保健法等に規定している内容は、全国すべての学校の実態に全てが直ちに対応できるものではない。(法律の規定はある意味では、最底の規定をしているものとも云える)

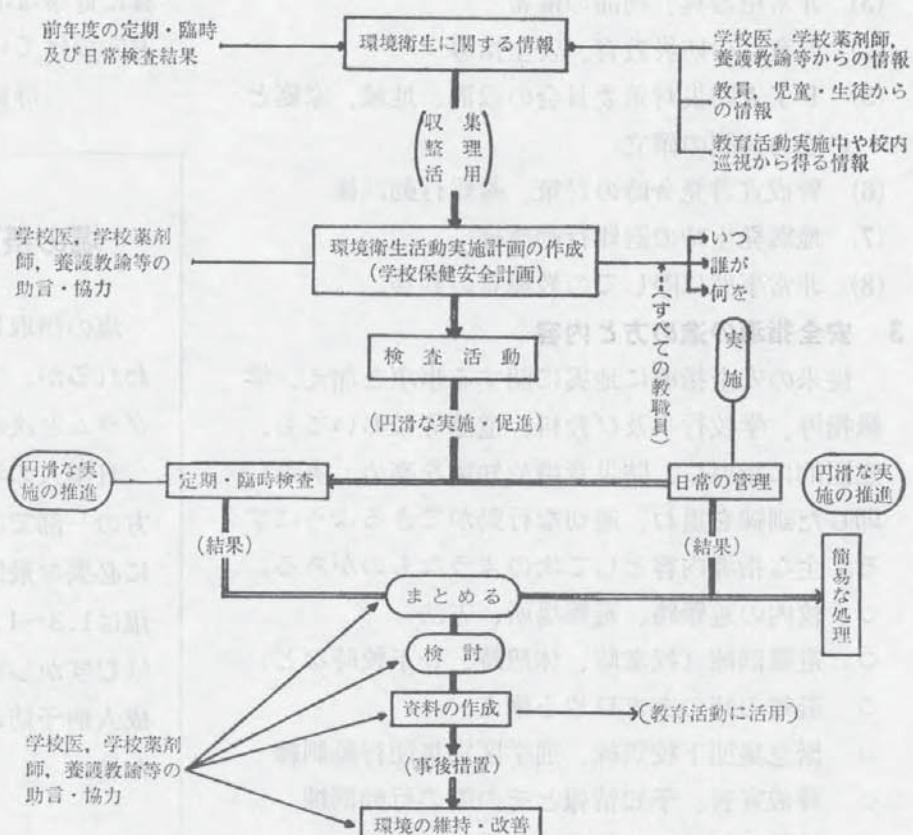
従って、これらの規定はもちろん学校の実態に基づいて積極的に取り組む必要があること。

④ 学校保健法 第2条及び第3条さらに、学校保健法施行規則 第22条の2から4までに基づいて実際に活動を展開していく際には、昭和39年6月3日付の保健体育審議会の答申「学校環境衛生の基準」(昭和39年6月12日付 文部省科学・技術の進歩に即して実施することが必要であること。

⑤ 別表一1及び別表一2について具体的な活動の進め方について説明があった。

その後、神戸大学教授 佐守信男先生から「人間の健康と環境」について格調のある講演があり、第2日目は、幼・小学校部会、中学校部会、高等学校部会及び教育委員会部会に分れ、それぞれの特質をふまえ主題である「これから学校環境衛生活動を効果的に進めるには、どのようにすればよいか」について熱心な研究協議がなされ、実のある講習会が終了した。

別表一2 学校環境衛生活動の進め方(例)





地震防災対策

—登下校時にヘルメット着用を—

1はじめに

発生が予測されている東海大地震に備え、対策強化を指定された地域の学校としては、非常事態発生に際し児童・生徒の生命・身体の安全確保を第一とした防災計画をたて、計画的、実践的な対策を推進しなければならない。本校においても次の3点に基づいて防災対策を進めている。

- (1) 児童自身が自らを守るために、状況を正しく判断し、行動する能力を育てる安全教育の充実。
- (2) 学校、地域の自然及び社会環境の実態を把握し、予想される危険度、被害を考慮しての具体的、即応的なものとする。
- (3) 学校を中心とした地域や、個々の家庭との密接な連携をもったものとする。

2防災対策の内容

- (1) 教職員の研修として、地震、災害の資料研究
防災組織の確立、指導計画の検討作成等
- (2) 校舎、施設設備の補強、維持管理、点検
- (3) 非常用器具、物品の備蓄
- (4) 児童への防災教育、安全指導
- (5) P T A 防災対策委員会の設置、地域、家庭との協力体制の確立
- (6) 警戒宣言発令時の対策、避難行動訓練
- (7) 地震発生時の避難行動訓練
- (8) 非常事態に際しての教職員の勤務

3安全指導の進め方と内容

従来の安全指導に地震に関する事項を加え、学級指導、学校行事及び教科、道徳等においても、意図的に指導し、防災意識や知識を高め、実際に即した訓練を重ね、適切な行動ができるようにする。主な指導内容として次のようなものがある。

- 校内の避難路、避難場所、方法
- 避難訓練（授業時、休憩時、登下校時など）
- 避難の時のきまりや心構え
- 緊急集団下校訓練、通学区分別集団行動訓練
- 警戒宣言、予知情報とその際の行動訓練
- 地震の起り方、被害と防災対策知識

- 日常の心構え、非常用器具、物品の備蓄
- 児童に可能な救護
- 地域自主防災組織の認識と協力方法

4全校児童のヘルメット着用

交通事故防止とあわせて、防災ヘルメットを登下校時に着用させている。非常の際の防護を目的としているが、児童がヘルメットを手にした時、常に防災の意識や安全行動への自覚をもってほしいと願っている。

5日常の生活指導を通して

本校では、歩き方、挨拶、後始末の3つを3A運動と名づけ指導の中心にしている。集団生活の中で規則を守らせ、徹底させることにより、非常事態に際しても、安全に身を処すことのできる判断力と行動がとれることをねらいとしている。

6おわりに

地震防災対策が、単に地震に備えての準備というだけでなく、これら対策・安全指導を通して、眞に健康な心身をもつ人間の育成に役立つように方向づけていきたい。

（静岡県焼津市益津小　教頭　小沢正方）

塩の摂取量は1日10グラム以下に

塩の摂取量は、各国とも1日10グラム弱といわれるが、アメリカでは、さらにその半分の5グラムと決めている。

日本人の場合は、平均1日15グラム。東北地方の一部では20~30グラム。健康を維持するのに必要な最低量は0.5~1グラム。みそ汁一杯の塩は1.3~1.8グラムなので、日本人の塩ばなれはむずかしい。しかし、高血圧、脳卒中などの成人病予防のため、塩は1日10グラム以下にしたい。

（健康づくり19号より）

備えあれば憂なし

—安全対策の実際—

1974年5月発生の伊豆沖地震、76年8月の河津地震に、78年1月の伊豆大島近海地震と矢継早に地震の体験をし、その中で失敗や学んだことも数多い。突然に来襲した74年には自失茫然、一瞬とはいえ職責を顧ることも忘れ運動場に棒立ちのまゝだった。その間僅か15秒か20秒位、子ども達はと見ればすべり台の下に列をつくって身を寄せ合っていた。山や崖崩れによる犠牲者が出たが幸い郡下の学童に事故があったことは聞かない。76年は就寝最中の午前2時19分、突如として起った地震で家財道具やタンス・テレビ等の転落、倒壊があったもの、傷害を被った人は無かった。また、48年の地震では、山崩れ地すべり等による犠牲者は多かったが、12時24分という昼食最中にもかゝわらず1件の火災事故もなく、在校児童、生徒で負傷した話も聞かなかった。このような経験から学校内での地震傷害が以外と少ない点と、崖崩れ・石垣・ブロック屏の崩壊等に慎重な配慮と、火災防止のため万全の対策を講ずることが肝要であることを知った。

“備えあれば憂いなし”古くからの言葉ですが、数多くの児童、生徒の尊い命を預る者として強く噛み締めたい言葉だと思います。

安全対策にとって最も大切なことは、完璧な予知情報の周知徹底と、統制ある秩序正しい避難訓練の積み重ね以外に無いと思う。指導者の毅然たる態度、指令の徹底、統制と沈着冷静な行動、確実な人員掌握等の実践的訓練が安全確保の条件だと思います。1975年中国に起った海域地震(M7.3)は予知情報の徹底により、早期に避難、その結果犠牲者が無かつ

たことで有名な実例です。

現在我が国でも東海地震に備え、予知情報について万全の態勢を整え日夜努力が注がれています。今後不意を襲う大地震が到来するとは思われません。

そこで、警戒宣言が出された場合の本校予知避難要領の概要について申し上げますと、

1 数時間以内予知対策

(15分以内に避難を完了する)

○在校時 生徒は学校待機を原則とする。

- ・教室に集合、予知発令の確認後戸締り、下校の準備をし、順序よく運動場中央に集合人員点呼、部落別編成をして待機する。

(父母の引渡し要請の場合、チェックし共に帰宅)

○登下校時 家か学校又は最寄り避難所に避難。

- ・広域避難所責任者の指揮に従う。

○在宅時 休校し、地区防災指揮下に入る

(警戒宣言解除まで、学校は臨時休校とする)

2 2~3日以内予知対策

(1時間30分以内に避難を完了する)

○在校時 生徒は帰宅を原則とする

- ・1の避難行動要領に準ずる

(非常連絡網を通じ、父母来校を要請、引渡し確認後帰宅する)

○登下校時 直ちに帰宅する

○在宅時 1の要領に同じ、解除迄家庭待機

以上が予知避難の大要です。“災害は忘れた頃にやってくる”とか、心して万一に備えたいと思います。

(静岡県河津中 校長 島田 昌)

アメリカのハインリッヒという人は…

ハインリッヒの定説

2度あることは3度ある 重傷



保健指導資料の活用 (中学校)

一 教科担任者会議に提案し協力を得る一

健康づくりを積極的に進めるために、学校・家庭・地域のあらゆる場で、生徒の生活実態を具体的に見極め、把握して専門的な立場から、生徒の心身の発達に即した保健指導を行う。そのためには、情報を把握するとともに関係者に資料提供し、共通理解を深め、協力を得るように努めている。

○養護教諭の立場から保健指導の計画が学校の創意を生かし、生徒の発達段階に応じて進められているかどうか、常に留意する。

○生活指導資料としての調査と活用

6月の委員会の議題で、授業中に頭痛・腹痛・その他、保健室利用者が多い、なぜだろう？ 学校生活・家庭生活の中で何か関係する問題があるのではないか？ 原因として悩み・不安・成績などがあげられた。協議の結果「付中生の素顔」について実態調査を行い、9月の文化祭に展示して感想を聞くことに決定した。調査内容は朝の生活・学校生活・夜

の生活など20項目を実施、結果を発表した。

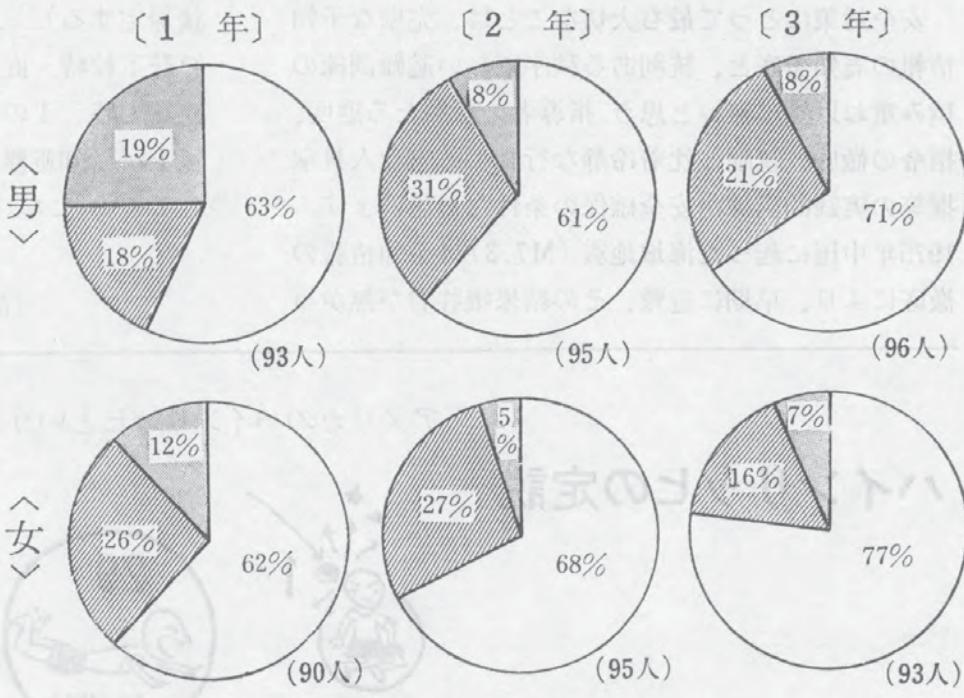
生徒・保護者からも好評を得た。感想の多くが資料を広く活用して欲しいとあり、その意見のひとつひとつを大切にまとめて、各分野の会議に事例とからみ合わせ提案した。これらについて、理解を深めるとともに結果をあせらず、学校全体で問題に取り組む姿勢に努力した。その結果、学級指導・学年全体指導が深められ、PTA活動でも関心が深まった。さらに、記録として生徒会誌・PTA会誌に特集としてとりあげ、多くの家庭で結果が話し合われた。また、保健室に倍になって帰ってくることを楽しみにしているものである。

各学年教科担任者会は、生徒ひとりひとりに関する情報交換を行い、特に健康に関する問題を提起し関心を深め、効果的な学習指導を行うために活用している。

埼玉大付中 金沢ふじ子

実態調査の実際 54.7.18調査

1. 朝めざめて起きるときどう思いますか



生徒保健委員会のまとめ

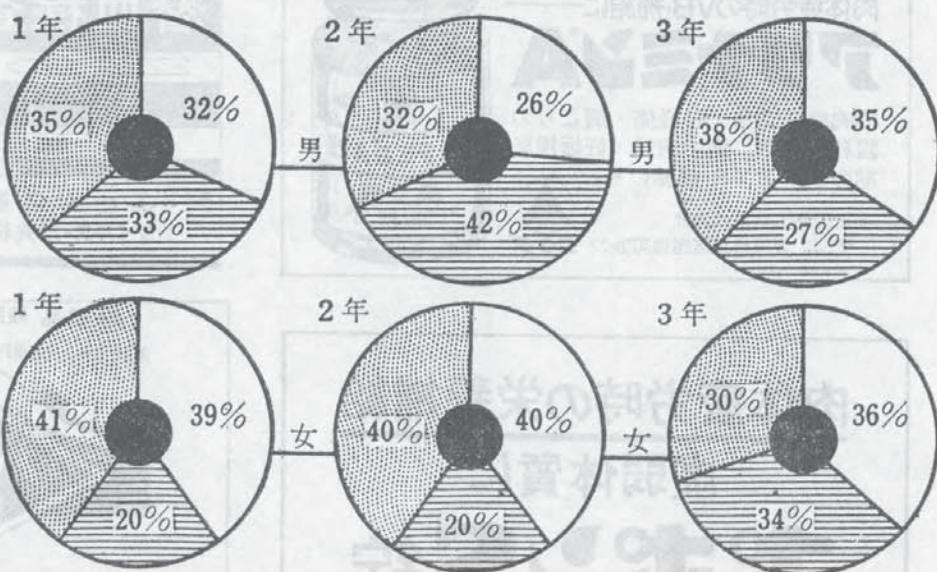
- (1)みんな同じ気持ちだね…
- (2)夜ねるのがおそいのかしら…
- (3)テストがなければ楽しんだ…
- (4)宿題がなければ、提出物がなければ…

◀ 学校は楽しいな

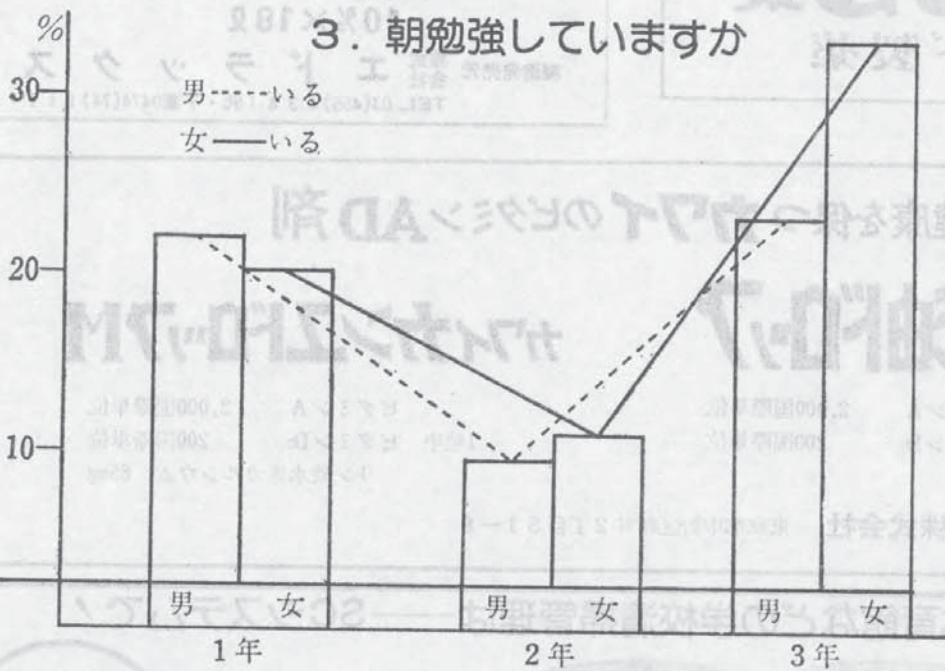
◀ さあ学校だ、毎日頑張ろう

◀ もっとねたいな

2. どうやって起きますか



3. 朝勉強していますか

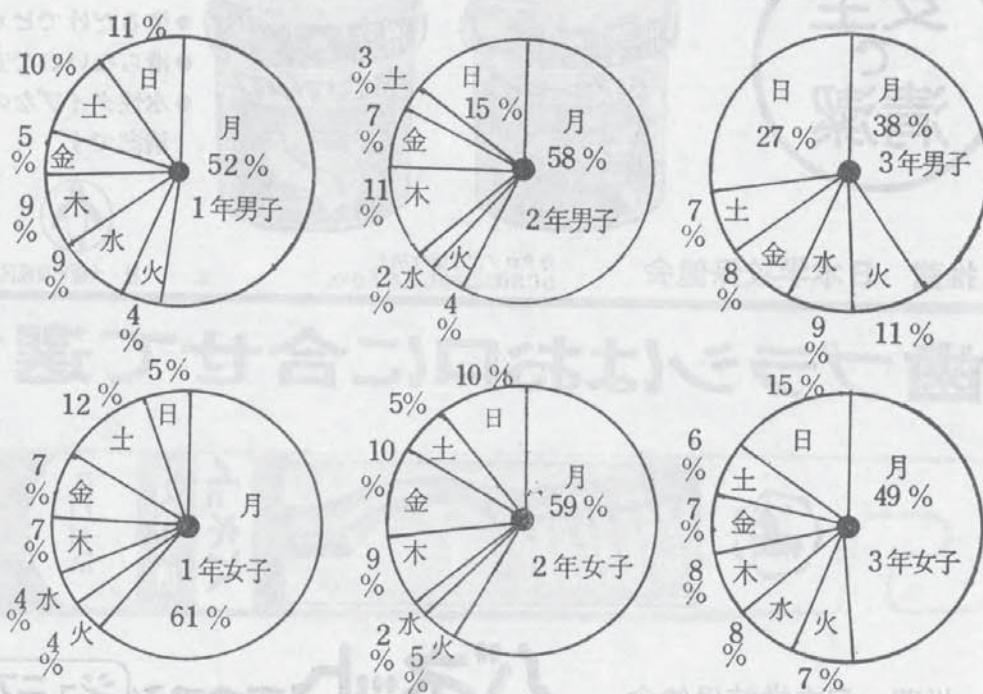


生徒保健委員会のまとめ

- (1)自分でいやな物を先にするよう努力する。
- (2)計画を立てそれを実行する。
- (3)テレビ・マンガ等の誘惑に負けないように努力する。
- (4)宿題・提出物はその日のうちにすればよい。
それがなかなかできないで困っている。

4. 一週間のうち何曜日の朝が一番つらいですか

月曜日にはんやりしないために!!



肉体疲労時のVB₁補給に——
アリナミンA

筋肉痛・腰痛・神経痛・肩こりの緩和、脚気、病中病後・妊娠授乳期のビタミンB₁補給にも。

武田薬品工業株式会社

〒541 大阪市東区道修町2-27 タケダ



学童の集団検尿には
潜血検査も

キットスティック™

ヘマコンピュティック®

製造元:エームス事業部 発売元:三共株式会社
マイルス・三共株式会社

肉体疲労時の栄養補給

虚弱体质に

ポポンS錠
シオノギ製薬

医薬品 殺菌・消毒・除藻剤

食品添加物合成殺菌料

日本学校保健会推薦



残留塩素測定用
オルトリジン試薬

次亜塩素酸ナトリウム10%溶液

10% × 18L

製造発売元 株式会社エドックス
TEL. 03(455)4341(代)・千葉0474(74)1171

体力をつけ健康を保つカワイのビタミンAD剤

カワイ肝油ドロップ

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
ビタミンD₂ 200国際単位



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8

カワイカンエドロップM

ビタミンA 2,000国際単位
1粒中 ビタミンD₂ 200国際単位
リン酸水素カルシウム 65mg

これから教室、体育館などの学校清掃管理は——SCシステムで!

安全で
清潔



- 塗るだけでピカピカ!
- 滑らないので安全です
- 水性タイプなので安全、清潔です



ペンギンックス

推薦 日本学校保健会

カタログご希望の方は、
SCS係宛お申し込み下さい。

本社 大阪市東成区東中本3-10-14(〒537) TEL 06 (976)1451

歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

バネットライオンジュニア

ライオン株式会社